

ポーランド・マクロ経済情勢

2018年1月
在ポーランド日本国大使館
経済班

ポイント

1 経済成長率は上昇基調

2016年のGDP成長率は2.8%。2017年第3四半期のGDP成長率は対前年同期比5.2%増と、経済成長率は大幅に伸びている。政策金利は史上最低の1.5%を維持している。

2 生産、消費は拡大傾向

11月の鉱工業生産は前年同月比9.1%増。小売販売は対前年同月比8.8%増で、消費は拡大傾向が続いている。小売販売は2016年11月から対前年同月比5%を上回る状態が続いている。

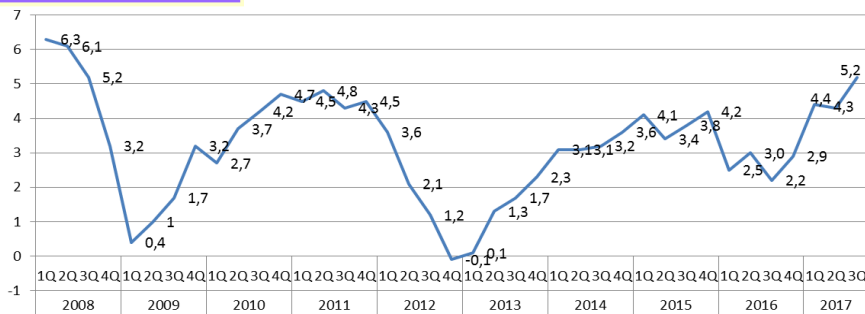
3 物価は上昇傾向が継続

11月の消費者物価指数（CPI）は、対前年同月比2.5%増。5月まで5か月連続で中央銀行のインフレ目標値2.5±1%の下限（1.5%）を超えていたが、6月になり下限値まで下落。7月以降は徐々に上昇している。

4 失業率は過去最低、賃金は上昇継続

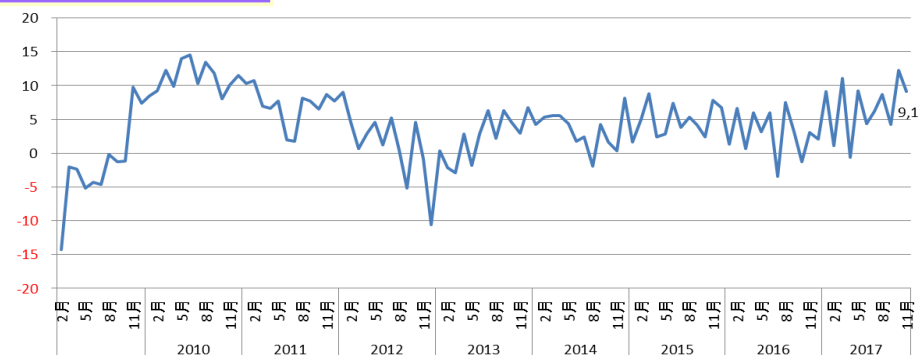
11月の失業率は6.5%で、引き続き減少傾向にある。11月の平均賃金上昇率は対前年同月比6.5%増となった。

経済成長



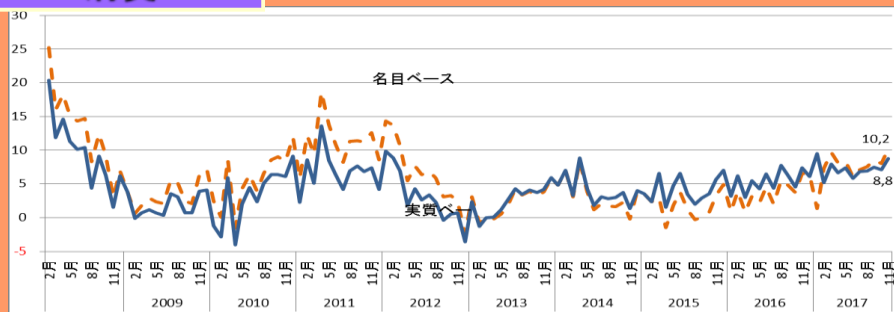
経済成長率は2016年第3四半期よりも大幅に回復。消費の伸びやEU基金を活用したインフラ整備等が寄与。

生産



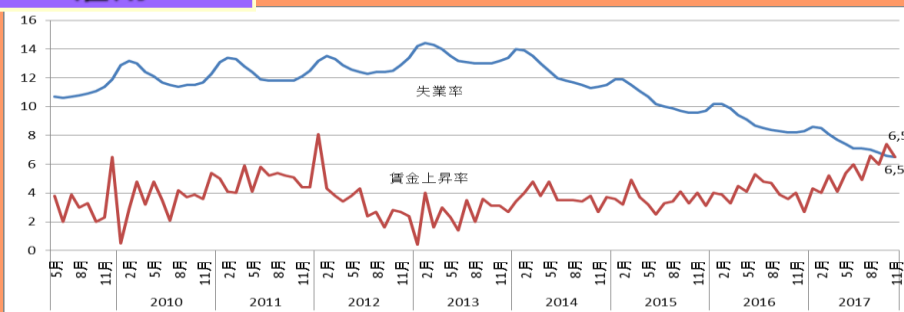
鉱工業生産は4月にマイナスとなったが、その後順調に拡大を続けている。11月の鉱工業生産の伸びは前月より緩やかであったが、小売販売は伸びた。

消費



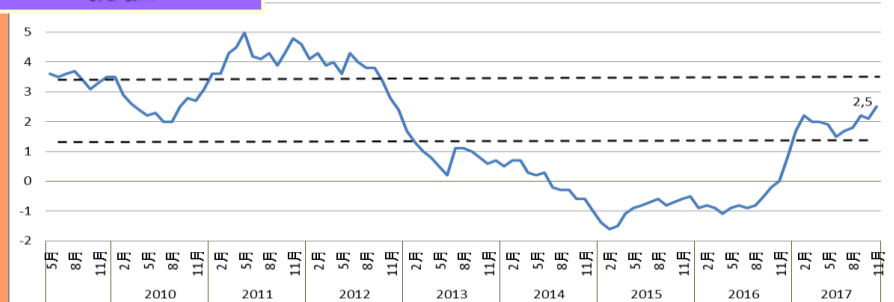
11月の小売販売は対前年同期比8.8%と引き続き7%以上の水準を維持している。

雇用



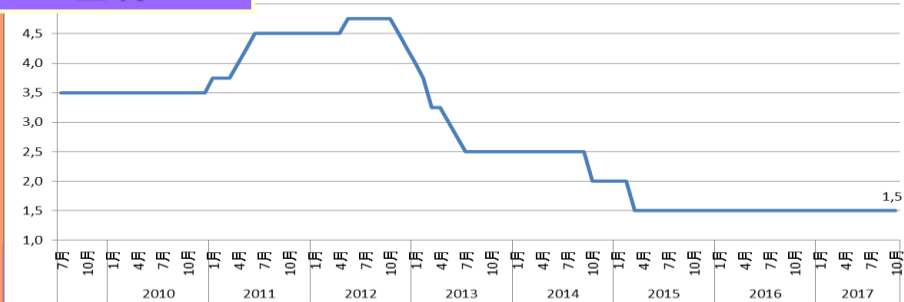
11月の失業率は6.5%と引き続き減少を続けており、賃金上昇率は6.5%と前月より伸びは緩やかであった。

物価



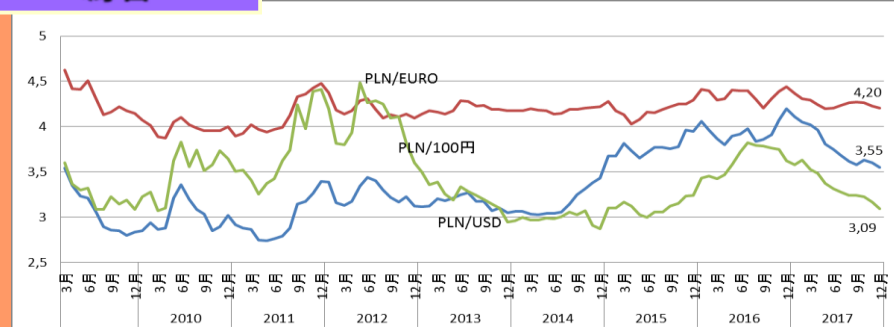
11月のCPIは対前年同月比2.5%に上昇。中央銀行のインフレ目標値2.5±1%の範囲内に収まっている。

金利



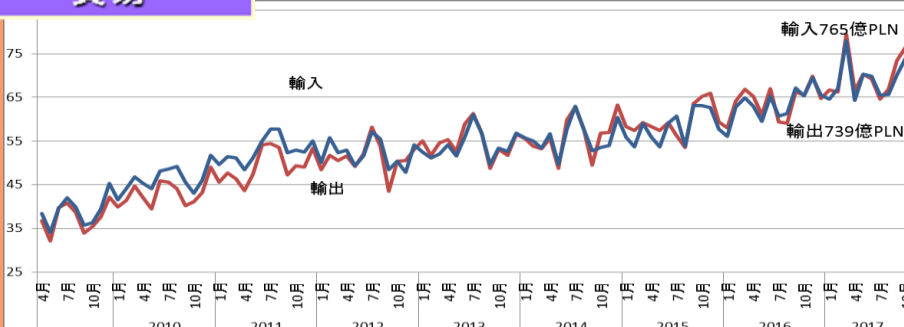
政策金利は2015年3月以来、史上最低の1.5%を維持している。

為替



12月の平均為替は、対日本円で3.09ズロチ、対ユーロ4.20ズロチ、対ドル3.55ズロチとなり、11月よりズロチ高が進んだ。

貿易



10月の輸出は765億ズロチ、輸入は739億ズロチで26億ズロチの貿易黒字となった(9月の貿易黒字額は33億ズロチ)。